

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【公開番号】特開2012-104155(P2012-104155A)

【公開日】平成24年5月31日 (2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2012-21529(P2012-21529)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月18日 (2012.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明の一態様によると、

撮像日が特定可能な撮像画像のデータを対象画像のデータとして用いて、当該対象画像内の被写体の顔を含む領域を顔領域として検出する顔検出手段と、

撮像日がそれぞれ特定可能な複数の既存画像のデータの中から、前記顔検出手段により検出された前記顔領域に類似する顔領域を有する既存画像のデータを検索する画像検索手段と、

前記対象画像のデータの第 1 撮像日付と前記既存画像のデータの第 2 撮像日付との差分を求め、当該差分と所定の範囲とを比較する日付比較手段と、

前記日付比較手段により比較された結果前記差分が前記所定の範囲内にあり、且つ、前記画像検索手段によって検索された既存画像のデータと前記対象画像のデータとを類似画像のデータとして処理する処理手段と、

を備える画像処理装置を提供する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像日が特定可能な撮像画像のデータを対象画像のデータとして用いて、当該対象画像内の被写体の顔を含む領域を顔領域として検出する顔検出手段と、

撮像日がそれぞれ特定可能な複数の既存画像のデータの中から、前記顔検出手段により検出された前記顔領域に類似する顔領域を有する既存画像のデータを検索する画像検索手段と、

前記対象画像のデータの第1撮像日付と前記既存画像のデータの第2撮像日付との差分を求め、当該差分と所定の範囲とを比較する日付比較手段と、

前記日付比較手段により比較された結果前記差分が前記所定の範囲内にあり、且つ、前記画像検索手段によって検索された既存画像のデータと前記対象画像のデータとを類似画像のデータとして処理する処理手段と、

を備える画像処理装置。

【請求項2】

前記第2の撮影日付とは、前記画像検索手段によって検索された既存画像のデータの撮影日付を含む、

請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記既存画像のデータは、複数のグループのうちの何れかに属しており、前記画像検索手段は、前記複数のグループのうちの何れかに属している既存画像のデータの中から、前記顔検出手段により検出された前記顔領域に類似する顔領域を有するデータを検索する、

請求項1又は2記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記処理手段は、前記画像検索手段によって検索された既存画像のデータと前記対象画像のデータとを類似画像のデータとして同一グループに分類する分類手段を含む、

請求項3記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記日付比較手段により比較された結果、前記差分が前記所定の範囲外である場合、

前記画像検索手段は、別の既存画像のデータを検索し、

前記日付比較手段は、前記別の既存画像のデータの撮像日付を前記第2撮像日付として前記差分を求め、前記差分と前記所定の範囲とを比較する、

という処理を、

前記差分が前記所定の範囲内となるまで、又は、前記画像検索手段による検索により別の既存画像のデータが存在しなくなるまで、繰り返し実行し、

前記分類手段は、

前記画像検索手段による検索により別の既存画像のデータが存在しなくなった場合、前記対象画像のデータの分類を禁止するか、又は、新たなグループを生成し、前記対象画像のデータを新たなグループに分類する、

請求項4に記載の画像処理装置。

【請求項6】

前記分類手段は、前記顔検出手段により前記顔領域が検出されなかった場合、前記対象画像のデータの分類を禁止するか、又は、新たなグループを生成し、前記対象画像のデータを新たなグループに分類する、

請求項3乃至5の何れかに記載の画像処理装置。

【請求項7】

画像処理装置が、対象画像のデータを対象として画像処理を実行する画像処理方法において、

撮像日が特定可能な撮像画像のデータを対象画像のデータとして用いて、当該対象画像内の被写体の顔を含む領域を顔領域として検出する顔検出ステップと、

撮像日がそれぞれ特定可能な複数の既存画像のデータの中から、前記顔検出ステップにより検出された前記顔領域に類似する顔領域を有する既存画像のデータを検索する画像検索ステップと、

前記対象画像のデータの第1撮像日付と前記既存画像のデータの第2撮像日付との差分を求め、当該差分と所定の範囲とを比較する日付比較ステップと、

前記日付比較ステップにより比較された結果前記差分が前記所定の範囲内にあり、且つ、前記画像検索ステップによって検索された既存画像のデータと前記対象画像のデータとを類似画像のデータとして処理する処理ステップと、

を含む画像処理方法。

**【請求項 8】**

画像処理装置に対して、対象画像のデータを対象として画像処理の実行を制御するコンピュータに、

撮像日が特定可能な撮像画像のデータを対象画像のデータとして用いて、当該対象画像内の被写体の顔を含む領域を顔領域として検出する顔検出機能、

撮像日がそれぞれ特定可能な複数の既存画像のデータの中から、前記顔検出機能により検出された前記顔領域に類似する顔領域を有する既存画像のデータを検索する画像検索機能、

前記対象画像のデータの第 1 撮像日付と前記既存画像のデータの第 2 撮像日付との差分を求め、当該差分と所定の範囲とを比較する日付比較機能、

前記日付比較機能により比較された結果前記差分が前記所定の範囲内にあり、且つ、前記画像検索機能によって検索された既存画像のデータと前記対象画像のデータとを類似画像のデータとして処理する処理機能、

を実現させるプログラム。